

キャノン製EOSデジタル一眼レフカメラ用 ニコン製デジタル一眼レフカメラ用 ソニー製デジタル一眼カメラ用

共通取扱説明書

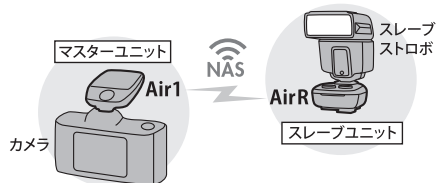
※キャノン用とニコン用とソニー用 3タイプ共通の取扱説明書です。
AirR自体は、キャノン用、ニコン用、ソニー用はそれぞれ個別の製品です。

ニッシン製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用にあたっては、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。
また、カメラの操作・機能に関しましては、ご使用になるカメラの取扱説明書をご参照ください。

レシーバーAirRは、ニッシン独自の電波式ワイヤレスTTLシステム(NAS)に対応する受信機です。

AirRにはキャノン用、ニコン用、ソニー用の3種類があり、それぞれのタイプに対応することが確認されたニッシンストロボや純正ストロボをホットシューに取り付けられます。AirRは同じタイプのAir1によってのみコントロールできます。例えばAirRキャノン用の場合は、Air1キャノン用からのみコントロールできます。(他のタイプのAir1ではコントロールできません。)



対応ストロボ

最新の対応ストロボ一覧表は、
<http://www.nissin-japan.com>でご確認ください。

安全上のご注意 ■必ずお守りください。

ご使用になる人や他人への危害、財産への損害を未然に防止する為、お守り頂くことの説明をしています。よくお読みになり取扱いにご注意ください。

警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電したり、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずお守りください。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。必ずお守りください。

- 警告**
- 落としたり、破損したりした場合、または機器の中に物体が落ち込んだ場合には、絶対に露出部分に触れないでください。
 - 人の目の前(特に乳幼児)に近づけて発光しないでください。目の近くで発光させると、視力障害を起こす危険性があります。特に乳幼児を撮影する場合は1m以上離れてください。
 - コップ、化粧品、薬品の入った容器のそばで使用しないでください。こぼれたり、機器の中に入った場合は、火災、感電または傷害の原因になります。
 - 本機は防水ではないので、雨がかかる場所や、湿度の高い場所に置かないでください。
 - 自動車など40℃を超えるような高温になる場所に放置しないでください。
 - 可燃性ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在する恐れがある場所で使用しないでください。

- 注意**
- 電池を高熱にさらさないでください。
 - 乾電池は充電しないでください。
 - 不安定な場所で本機を使用しないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下したりすることにより怪我の原因となる場合があります。

- その他の注意**
- ペンジンやシンナー、アルコールなどで本機を拭かないでください。変色や変形の原因となります。汚れのひどいときは柔らかい布で乾拭きしてください。
 - 本機を長期間使用しない場合は、液漏れ防止のため電池を抜いて保管してください。

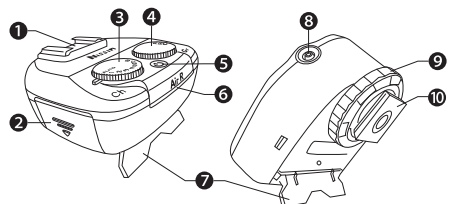
ニッシンエアシステム



ニッシンエアシステム(NAS)はニッシンデジタル独自の電波式ワイヤレスTTLシステムです。AirRはNASに対応しています。

- 2.4GHz 帯の電波を受信します。電波を発信する機能はありません。
- 取り付けができるストロボは、ニッシン製ストロボと純正ストロボです。対応モデルは、ニッシンジャパンホームページ (<http://www.nissin-japan.com>) をご参照ください。
- カメラに取り付けた NAS コマンドー (Air1) を「マスターユニット」、AirR と AirR に取り付けられたストロボを「スレーブユニット」と呼びます。
- AirR が NAS コマンドー (Air1) に認識されると、AirR に取り付けられたストロボのすべての機能が NAS コマンドーによってコントロール出来るようになります。
- 使用可能範囲：最長 30m (使用環境によって異なります)
- 金属、ケーブル類、壁、2.4GHz 帯を使用する他の機器などによって、NAS の使用可能範囲が制限される場合があります。

各部名称



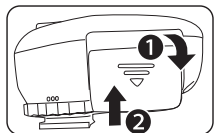
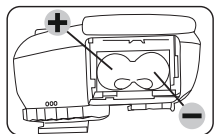
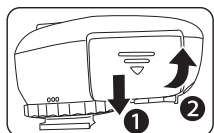
- ① ホットシュー
- ② 電池カバー
- ③ チャンネル切替ダイヤル
- ④ グループ切替ダイヤル
- ⑤ オン/オフ ボタン
- ⑥ フロントLED
- ⑦ 折りたたみ式スタンド
- ⑧ シンクソケット
- ⑨ ロックリング
- ⑩ 三脚ネジ穴付き取り付け足

基本操作

電池の挿入

使用できる電池：単4形電池のニッケル水素電池(エネープ他)、アルカリ乾電池

1. 電池カバーを図の①、②の順番に開きます。
2. 単4形電池2本の＋の向きを合わせて正しく挿入してください。
3. 電池カバーを①押してから②スライドさせて閉めてください。



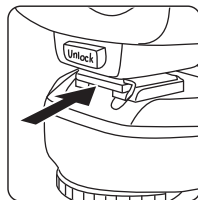
注意

電池は、同じブランドで同じタイプの新しい電池を使用してください。同時に交換することをお勧めします。また、充電池の場合は、同時に充電した電池をご使用ください。

スレーブストロボをAirRに装着する

■ ロック解除ボタン式の場合

1. ストロボの取付足をAirRのホットシューに挿入します。
2. 奥まで差し込み、ロックピンでしっかり固定させてください。



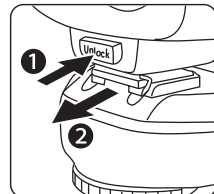
■ ロックリング式の場合

1. ストロボのロックリングを完全に緩めます。
2. ストロボの取付足をAirRのホットシューにしっかり奥まで挿入します。
3. ロックリングを締めてしっかり固定します。

スレーブストロボの取り外し方

■ ロック解除ボタン式の場合

1. [Unlock] (ロック解除ボタン) を押しながら、
2. 取付足を引き抜きます。



■ ロックリング式の場合

1. ロックリングを完全に緩めて、
2. 取付足を引き抜きます。

重要 スレーブストロボのモード設定

1. AirR の電源を入れて、次にストロボの電源を入れます。※順番を間違えると正常に動作しないことがあります。
2. ストロボのモードは「TTL」、調光補正值は「0.0EV」にしてください。
3. 操作は NAS コマンドー (Air1) から行います。

※「A」(フルオート) モードのあるストロボでは、必ず TTL モードに設定してください。A モードのままですと一部機能が正常に動作しません。

△ ニコン用ストロボをお使いの方へのお願い

ニコン用ストロボはモデルによって発光方式が異なりますので、取り付けられたストロボがどの方式なのかを AirR が予め認識する必要があります。

「認識」は、Air1 のテスト発光によって行います。手順は次のとおりです。

1. AirR にニコン用ストロボを取り付けます。
 2. AirR→ストロボの順に電源を入れ、ストロボの充電が完了するまで待ちます。
 3. Air1 と AirR のペアリング設定(後述参照)を行います。
 4. Air1 のパイロットボタンを押し、AirR に取り付けられたストロボを発光させます。
 5. 以上で認識が完了しました。
- ※ニコン用ストロボの場合、上記の認識を行わなければ TTL 調光が正常に行われません。

△ ソニー用ストロボをお使いの方へのお願い

- AirR に装着したストロボを発光させるためには、Air1 をカメラに装着し、フラッシュモードを「WL」に設定する必要があります。
- HSS モードでお使いになる場合は、Air1 側にて動作モードを切り替えていただく必要があります。詳しくは Air1 の取扱説明書をご覧ください。
- 旧型のオートロックアクセサリシュー仕様のストロボと、ソニー純正の変換アダプタ (ADP-AMA) 等を組み合わせた場合の動作保証はしていません。

まず最初にペアリング設定をします

ワイヤレス撮影を行う前に、以下の手順にしたがって、AirRとNASコマンダー (Air1) のペアリング設定を行ないます。

△ご使用前に必ずペアリング (ID) 設定を行なってください。

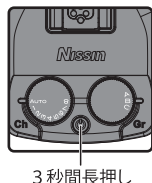
【ステップ 1】: 全てのユニットの電源をOFFにする。

【ステップ 2】: 以下の手順でペアリング設定を行います。

① AirR の設定

1. AirRの「オン/オフボタン (○)」を3秒間長押しします。
2. ビープ音が鳴り、フロントLEDが緑色または赤色に点滅します。

※AirRを複数台使用する場合と同様の操作を行います。



3秒間長押し

2. ビープ音はそのままにして、次にNASコマンダー (Air1) の設定をします。

② NASコマンダー (Air1) の設定

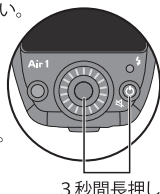
1. Air1の「セットボタン (S)」と「オン/オフボタン (○)」を同時に3秒間長押ししてください。

2. パイロットランプが5秒間点滅した後、AirRのビープ音が止まります。

3. これでペアリングは完了です。

※Air1はAirRから2〜4秒遅れて設定が完了します。

※ペアリング作業が完了するまで操作を行わないでください。



3秒間長押し

パイロットランプが5秒間点滅

AirRのビープ音が止まるとペアリングは完了です。



※複数台のスレーブユニットをお持ちの場合は、同様の操作を繰り返してください。

※21台までペアリングできます。

※複数台のスレーブユニットを1台ずつ順番にペアリングする時間を短縮したい場合は、先に何台かのスレーブユニットを長押ししてビープ音を出してから、最後に1回 Air1を長押しすれば、一度にペアリングができます。

① 注意

- ◎ ペアリング設定は、電源をオフにしても設定が記憶されたまま残ります。
- ◎ テスト発光を行うときはコマンダー Air1 のパイロットランプを押してください。

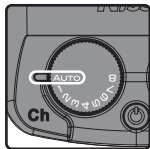
AirRのチャンネル設定

無線 LAN、Bluetooth、他社製のラジオスレーブユニットなど 2.4GHz 帯を使用する他の通信機器が多く使われる場所では、電波干渉により NAS が正常に動作しない場合があります。そのような場合は、通信チャンネルの変更を行ってください。

「Auto」チャンネル切り替え

Ch (チャンネル) を AUTO にセッ

※通常は AUTO の位置で問題ありません。コマンダーのチャンネルが反映されます。

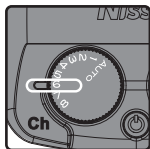


「Manual」チャンネル切り替え

1 ~ 8 のチャンネルを手動設定

NAS コマンダーのチャンネルと同じ番号 (1 ~ 8) にセッ

※手動設定を行うほうが通信が安定します。



NASコマンダー (Air1) のチャンネル設定

1. 「セットボタン (S)」を3秒間長押ししてください。
2. チャンネル設定画面に自動的に切り替わります。
3. セレクトダイヤルを回し、8つのチャンネルの中から1つ選びます。
4. 「セットボタン (S)」を押すと決定されます。
5. AirR のビープ音が鳴ります。
6. チャンネル設定は完了です。

NASコマンダー (Air1)



3秒間長押し



セレクトダイヤルでチャンネルを1つ選びセレクトボタンを押す



AirRのビープ音が鳴り設定完了

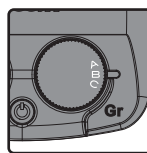
グループ設定

AirR は、グループ A、B、C のいずれかにセットできます。グループ A にセットした場合は、Air1 のグループ A を選んで設定値を切り替えてください。

AirRのグループの設定方法

グループ切り替えダイヤル (Gr) を A、B、C のいずれかに切り替えます。

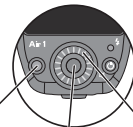
※スレーブストロボのモードは「TTLモード」、調光補正「0.0」にしてください。



NASコマンダー (Air1) のグループの設定方法

1. Air1 のモードボタンを押して「TTL」「M」「Z」のいずれかのモードを選びます。
2. セレクトボタン (S) を押して、グループ A、B、C または ABC を選んでください。
3. グループ点滅時にダイヤルを回すと、TTL モードの時は調光補正、マニュアルモードの時は発光量、ズーム設定モードの時はズーム位置を調節できます。
4. 特定のグループの発光を停止する場合は、そのグループの表示が点滅している時に「オン/オフボタン」を押して下さい。復帰する場合は、同じ動作を繰り返します。

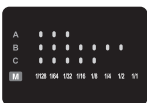
NASコマンダー (Air1)



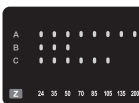
1. Modeボタン 2. Sボタン 3. セレクトダイヤル



TTLモード



マニュアルモード



ズーム設定モード

ガイドナンバー変更モード

AirR は、AirR に装着するストロボのガイドナンバーに従って、2つある設定のうちどちらかに切り替える必要があります。設定状態はフロント LED の色が「緑色」か「赤色」かによって識別できます。

緑色の場合: GN25-49 (ISO100)

赤色の場合: GN50-65 (ISO100)

※正しく選択されていない場合は、正しい光量で発光しません。

ガイドナンバー変更モードの切り替え方法

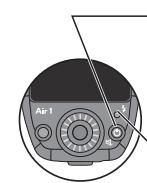
1. 電源 ON 状態であることを確認します。
2. オン / オフボタンを6秒間長押しします。
3. フロント LED の色が緑、または赤に切り替わります。

※切り替えは必ずストロボの電源をオフにしてから行ってください。

スレーブユニットのビープ音のオン/オフ設定

NAS コマンダー (Air1) で切り替えを行います

NASコマンダー (Air1)



1. Air1のグループが点滅していない時にオン/オフボタンを短く押します。
2. パイロットランプの色がオレンジまたは白に切り替わります。

オレンジ色 ... ビープ音「オン」
白色 ... ビープ音「オフ」

ストロボの設置場所について

- 使用可能範囲: 最長30m (使用環境によって異なります)
- スレーブユニットはグループ A か B か C にセットして、マスターユニットから発光量をコントロールすることができます。
- スレーブユニットは使用可能範囲内であれば、どの位置に設置しても構いません。
- NASは電波式ワイヤレス通信システムです。光学式ワイヤレス通信システムでは受光しにくい状況、例えば遮蔽物がある場所や日中の屋外などでもシンクロしやすいのが特徴です。(ただし使用環境により異なる場合があります)

シンクロソケット

AirR の側面にはシンクロソケット (PC 端子) があります。市販のシンクロコード (別売) を接続することで、スタジオ用大型ストロボ等をリモートで発光させることが出来ます。

※Air1 のモードは「M」でお使い下さい。

TTL モードでは発光しません。

※Air1 からの発光量の制御はできません。ストロボ側で光量切り替えを行ってください。

■ AirRの主な仕様

対応ストロボ	【キヤノン用】	ニッシンストロボキヤノン用、E-TTL 対応キヤノン製 EX シリーズストロボ
	【ニコン用】	ニッシンストロボニコン用、i-TTL 対応ニコン製ストロボ
	【ソニー用】	MI シュー搭載のニッシンストロボソニー用、ADI/P-TTL 対応ソニー製ストロボ
ワイヤレス方式	NAS (Nissin Air System) 準拠の電波式	
電波仕様	2.4GHz 帯 (ISM バンド)	
通信	事前にペアリングを行ったマスターユニットの信号を受信	
チャンネル	8チャンネル (Auto とマニュアルがあり)	
発光グループ	A/B/C 3グループ (グループ別制御、グループ一括制御、グループ別発光停止が可能)	
電源	単4形2本 (別売)	
ガイドナンバー変更モード	Low GN モード (緑)、High GN モード (赤)	
動作モード	TTL、マニュアル、ズーム (NAS コマンダーからセットできます。)	
TTL 調光補正	-2.0 ~ +2.0、1/2EV ステップ	
マニュアル発光量設定	1/128 ~ 1/1 (8段)、1EV ステップ	
ズーム	手動ズーム設定 (24/35/50/70/85/105/135/200 mm)	
発光間隔	最速10回/秒	
発光回数	約5,000回	
使用可能範囲	最長30m (使用環境により異なる)	
後幕シンクロ	対応 (カメラ側で設定)	
ハイスピードシンクロ / FP 発光	ストロボが対応していれば1/8,000まで可能 (カメラ側で設定)	
スローシンクロモード (ニコン)	対応 (カメラ側で設定)	
赤目軽減モード (ニコン)	対応 (カメラ側で設定)	
赤目軽減 + スローシンクロモード (ニコン)	対応 (カメラ側で設定)	
設置取付方法	内蔵スタンド、三脚ネジ穴付き取付足	
外部端子	シンクロソケット	
ファームウェアアップデート端子	あり (専用端子)	
寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	約57x40x66mm	
重さ	64g (電池除く)	

※製品の仕様は、改良などにより予告なく変更することがあります。

NISSINは、ニッシンジャパン株式会社の登録商標です。その他記載の会社名や製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

★最新カメラへのファームウェアアップデート サービスやファームウェア対応状況に関するお問い合わせは、ニッシンホームページ、または、お問い合わせ窓口をご利用ください。

ホームページ: www.nissin-japan.com
TEL. 050-3736-7756